科目名	京	尤職	実系	务 🏻	В										
科目名(英)		2単位 時間数 30時間 担当者 各クラス担任 2020年度 実施時期 後期 担当者実務経験													
単位数		2≜	単位			時間数)時間	担当者	各	クラス担任					
実施年度		202	0年度	Ę		実施時期	:	 发期	担当者実務紹	験					
対象学科・学年	建	築CAE)科	· 1	ンテリフ	 アデザイン科 ・	<u> </u>	(昼) 2年 3	<u> </u> 建築工学科 3:	 _ 年					
								<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					
授業概要						□識を備えた人 養作成や履歴書		ど、社会人に	なる上でのスキ	・ルを身につ	ける。				
授業形式	講義		0	演	習:	実習:	5	€技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 统	知的 運動技能 技能	態度意欲	その他				目標							
		0			300 17117	動における企		うことができる)						
学習目標 (到達目標)		0				♪析を行うことか またまは ☆ ☆		7							
(判廷口馀/	- '	0			作品第	長を作成し就職	古 動かでき	5							
テキスト・教材 参考図書	就	職ガイ	ドブッ	ック	社会	人研修ノート									
	回数					授業項目·内容			授業外学修	指示					
		就職活													
		売職の 就職活			の伝達										
					_{牧古} の伝達										
		就職活			報告 の伝達										
	Ė	就職活				•									
		就職の 就職活			の伝達										
	5 5	就職の	求人	情報	の伝達										
		就職活 就職の			報告 の伝達										
		就職活 就職の			報告 の伝達										
授業計画		就職活				就職の求人情幸	服の伝達								
					報告/就	就職の求人情幸	服の伝達								
	10 店	就職活 ごジネス	動の スマナ	状況 -—	報告/就	就職の求人情幸	服の伝達								
	11 店	就職活 ごジネス	動の スマナ	状況 -—	報告/京 復習	就職の求人情幸	服の伝達								
	+	计栅话	動の	仆: 沿		就職の求人情幸	服の伝達								
	13 岩	就職活	動の スマナ	状況 -—	報告/京 復習	就職の求人情幸	服の伝達								
	14 ^疗	就職活	動のスマナ	状況 -—	報告/就 復習	就職の求人情幸	服の伝達								
		社会人													
	/ 1 \5	ᄗᆂᆉ	* *	- %h	(o) = == =	語の抽山 いし	- の 中南 # #	人 661-2018年1	p≅/∓/= =	7 二 7 ★ 火山 WC・	+7				
	(1)5	之 再 忠 /	吳 " 尼	、飲	(2)誄	題の提出 以上	の内容を構	音的に判断し	, Ka+1四(可、 /	トリノで刊画	9 0 。				
						言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
		受講	態度	·意	汝					30%					
評価方法		課	題の	提出						70%					
履修上の注意	60	%出席	を単	位付	与条件	‡とする									

科目名	F	Photoshop • Illustrator IV													
科目名(英)	Р	Photoshop Illustrator 4 2単位 時間数 30時間 担当者 原 将史													
単位数		:	2020年度 実施時期 後期 実務家教員 担当科目												
実施年度		20	0204	年度	Ę	美	薬施時期	後	:期		l				
対象学科•学年	廷	建築工	学	科 (3年										
授業概要										やプレゼンボ 行えるスキル・					
授業形式	講	義:			演	習: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報			態度 意欲	その他		•	'	目標	Ę					
		0				Illustrato	rの基本機	能を踏まえ、	適切に文字・	写真を配した	デザインがイ	作成できる			
学習目標		0					•			フィックの加コ					
(到達目標)		0				設計プラ	ンのコンセ	プトに沿った ・	デザインの演	出をコントロー	ールできる				
テキスト・教材 参考図書	情	青報リ	テラ	シー	- (Office2016	i								
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示 StratorとPhotoshop を連携したワーク(復習課題への取組み)												
	1	Illustr	ustratorとPhotoshop を連携したワーク(復習課題への取組み)												
	2	有名	名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①												
	3	有名	「名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①												
	4	有名	有名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン() 有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン(2)												
	5	有名													
	6	建物	有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン② 建物の写真を活用したCG加工												
1 alla = 1	7	3DCC	Gの	レン	ダリ	ング画像	を活用した	:CG加工							
授業計画	8	プレ1	ゼン	ボー	ードラ	ー デザインの	練習								
	9	プレ1	ゼン	ボー	ードラ	ー デザインの	練習								
	10	卒業	制作	乍のこ	プレ	ゼンボー	ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	 構想							
	11	卒業	制作	乍の:	プレ	 ゼンボー	ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	構想~チェッ	ック						
	12	卒業	制作	乍の:	プレ	 ゼンボー	ヾ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	レビュー・修	 繕						
	13	卒業	制作	乍の:	プレ	 ゼンボー	 ヾデザイン		 繕						
	14	卒業	制作	乍の:	プレ	 ゼンボー	 ヾデザイン		 繕						
	15	卒業	制作	乍の:	プレ	 ゼンボー	 ヾデザイン		 繕						
	卒第	美設計	-•卒	業制	制作	のプレゼ:	ンボード レ	_ノ イアウトデザ	インによる評	- 提出により評 F価 60点以上)・D					
		_	_		-m	=	言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
莎 年七年		各テーマ課題 © 60													
評価方法 		卒業制作ボード O 40%													
履修上の注意	ㅂ	出席率	<u>₹</u> 60)%t	が単	位付与の	条件とする	D _o							

科目名	建築士対策(計画)												
科目名(英)	Architectural Planning 2単位 時間数 30時間 担当者 森行 美枝 2020年度 実施時期 後期 担当者実務経験 建築設計事務所にて設計・野理業務担当													
単位数	2単位	時間数	30₽	持間	担当者	森	行 美枝							
実施年度	2020年度	実施時期	後	期	担当者実務経									
対象学科・学年	建築CAD科 インテリ	リアデザイン科	建築学科	(昼) 2年	建築工学科	 3年								
授業概要	以下の項目について基 商業建築 公共建築		,習得する。 電気・照明		₹ 伝熱 日 く・防災設備	照 音響	色彩 住宅							
授業形式	講義: 〇 演習:	△ 実習:	実	支:	※ 主たる	 る方法:O	その他:△							
学習目標 (到達目標)	〇 〇 日照 〇 〇 建築	建築士出題範囲・日射・採光の配物に付随する説の歴史において	図形を見て、と	出題問題のこの種類や役割	温度等のグラ E解が導き出せ 割が説明できる	せる。 る。								
		から公共建築物												
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリン	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 ・ 総合資格 厳選問題集500+100。												
授業計画	4 第5章 色彩 5 第6章 環境工学融合 6 第7章 空気調和設備 7 第8章 給水設備 8 第9章 排水衛星設備 9 第10章 電気·照明設 10 第11章 消火·防災設 11 第12章 設備融合	一												
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
履修上の注意	60%出席を単位付与条	件とする。												

科目名	建築士対策(法規) Building regulations															
科目名(英)	Е	Building regulations 2単位 時間数 30時間 担当者 今泉 清太 2020年度 実施時期 後期 担当者実務経験														
単位数		2単	位		時間	数		30時間		担当者	Í		今泉 氵	青太		
実施年度		20203	丰度		実施	時期		後期		担当者実務	経験					
対象学科・学年	3	建築CAE)科 •	イン	ノテリアテ	゙゙ザイン	科 •	建築学	科(星	图)2年	建築コ	上学科3年	<u> </u>			
授業概要		学科Ⅱで 震改修法			る以下の 法 都市				戦を⋾	里解し習得で	する。	建築基準	集法 バリフ	アフリー法 耐		
授業形式	講	義:	0	演習	₫: △	、	習:		実担	支 :		※ 主た	:る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他		·		I.		目相	票					
	0	ΟΔ			法令集の	準備が	完了	している。	。使月	用方法が理	解して	いる。				
学習目標	0	0											概要が説明	月できる。		
(到達目標)	0	0		\rightarrow				明できる。								
	0	0		つて正解を	選択できる。											
	0	0				使用し	て、谷	う草の谷を	とを導	拿かせること	かで	さる。				
テキスト・教材 参考図書		確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 ・ 総合資格 厳選問題集500+100。														
	回数	数 授業項目·內容 授業外学修指示														
	1	1 第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法														
	2	2 第1章 総則 確認済証の交付 復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング														
	3	2 第1早 総則 確認済証の交刊 解説と一緒にファイリング 復習問題で復習 プレスにはか回まで提出														
	4	第2章	一般相	構造	等 一角	 设構造	建乳	築設備			復習		プリントjは次	回まで提出		
	5	第3章	構造的	迪							復習	問題で復習と一緒にフ	「プリントjは次l	回まで提出		
	6	第4章	防火閥	関係	防火構	造等	法22	条区域内	の 通	建築物	復習	<u> </u> 問題で復習 と一緒にフラ	「プリントjは次l	回まで提出		
	7	第4章	防火閥	関係	耐火•	■ ■耐火建	建築物	」防火•垱	集防:	火地域	復習	問題で復習	プリントjは次	回まで提出		
授業計画	8	第4章	防火隊	関係	防火区	画・間付	上切壁	医 内装制	限等		復習	説と一緒にファイリング 習問題で復習 プリントjは次回まで提出 説と一緒にファイリング				
	9	第5章	都市記	計画		制限	 道路·	· 壁面線			復習	<u>これにファ</u> 問題で復習 と一緒にファ	プリントjは次	回まで提出		
	10	第5章	都市言	計画		制限	用途均	 地域			復習		プリントjは次	回まで提出		
	11	第5章	都市言	計画		制限	容積	≖•建ぺし	\率		復習	問題で復習	プリントjは次	回まで提出		
	12	第5章	都市言	計画		制限	高さの	の制限 日	影刬	見制	復習		「プリントjは次	回まで提出		
	13	第6章									復習		プリントjは次	回まで提出		
	_			_ከ ው፤	盟 区法令	・バリコ	アフリ・		雪沙		復習		プリントjは次	回まで提出		
								都市計画				<u>と一緒にファ</u> での復習プ	ァイリング リントで復習			
	(1)元 (2)2		(筆記 士 学])を !科本	実施する	。※609 合格を目	%以」 1指す	上取得する	3 . .	<u> </u>	点以.	上)•D(59	点以下)とす	- ిం.		
						言語情	青報	知的技	能	運動技能	態	度∙意欲	その他	評価割合		
	定期試験 O O 80%											80%				
評価方法		往	習問題	題		0		0						20%		
履修上の注意	6	0%出席	を単位	立付-	与条件と	する。					•					

科目名	建築士対策 (構造) Building construction														
科目名(英)	В	Building construction 2単位 時間数 30時間 担当者 黒木 文雄													
単位数		2単	单位		時	間数	308	寺間	担当者	具	県木 文雄				
実施年度		2020)年度		実施	時期	後	期	担当者実務紀	5 MARI	:計事務所で 記計に従事。				
対象学科•学年	3	建築CAD)科 ·	イン	·テリアデ t	ゲイン科	建築学科	(昼) 2年	建築工学科	3年					
授業概要									構造物と力 k構造 建築材)応力 トラス 断				
授業形式	講	義: () ;	演習	: Δ	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 き欲	の他											
	0	0					理解し、過去の		見が解ける						
学習目標	0	0							を士問題が解	ける					
(到達目標)	0	0		_					問題が解ける		A.S				
	0	0		- 1.	• •			過去の建築士	:試験問題が	「解ける					
	0	0				る知識を	試す問題が	解ける。 							
テキスト・教材 参考図書		確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 ・ 総合資格 厳選問題集500+100。 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数	第1会ニャフ 中の眼睛を声動に同僚してれて													
	1	第1章 構造物と力 第1章テキスト内の問題を事前に回答しておべ													
	2	第1早 博道物と月													
	3	第3章	プリントは次回	までに提出											
	4	第4章	新面 <i>の</i>	り性質	 笙				解説と一緒にフ復習問題で復習	プリントは次回	までに提出				
	5				· F容応力度	:			解説と一緒にフ 復習問題で復習	プリントは次回	までに提出				
						-			解説と一緒にフ 復習問題で復習		までに提出				
	6				節定構造物	<u> </u>			解説と一緒にフ 復習問題で復習		までに提出				
授業計画	7	第7章							解説と一緒にフ	ァイリング					
	8	第8章	地盤と	≟基礎	Ě構造 ────				復習問題で復習プリントは次回までに提出解説と一緒にファイリング 復習問題で復習プリントは次回までに提出						
	9	第9章	木構造	世					解説と一緒にフ	ァイリング					
	10	第10章	鉄筋	コン	クリート構造	告			復習問題で復習 解説と一緒にフ		までに提出				
	11	第11章	鉄骨	構造					復習問題で復習 解説と一緒にフ		までに提出				
	12	第12章	その	他の	構造				復習問題で復習 解説と一緒にフ	プリントは次回	までに提出				
	13	第13章	構造	設計	•				復習問題で復習	ププリントは次回	までに提出				
	14	第14章	建築	材料					解説と一緒にフ復習問題で復習	プリントは次回	までに提出				
		第14章							解説と一緒にフ 今までの内容を						
	(1)元 (2)2	上期試験 2級建築	(筆記 士 学	!)を 科本	実施する。 :試験で合 [;]	格を目指			 60点以上)·D	(59点以下)	とする。				
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			期試勵			0	0				80%				
評価方法		復	習問是	夏			20%								
履修上の注意	H	出席60%	%以上	が単	 位付与の	 条件・									

科目名	建築士対策(施工) Building Construction														
科目名(英)	E	Building Construction 2単位 時間数 30時間 担当者 集路 正巳 2020年度 実施時期 後期 担当者実務経験 総合建設会社にて、主に管理職として勤務													
単位数		2 🗓	単位		時間数	308	寺間	担当者	\$	集路 正巳					
実施年度		202	0年度		実施時期	後	:期	担当者実務経過							
対象学科・学年	3	建築CA[O科 •	インテ	- リアデザイン科	建築学科	(昼) 2年	建築工学科3	年						
授業概要	Ų				基本知識を理解し 設備工事 建		工事監理 量 工事契		反設工事	鉄筋工事					
授業形式	講	義:	O 3	寅習:	△ 実習:	実	<u>技</u> :	※ 主たる方法:O その他: △							
	言語 情報	知的 運動技能 技能)他	•	目標									
	0	0			事契約の仕組を理										
学習目標	0	0			5コンクリート造の			る							
(到達目標)	0	0			骨造の施工方法に										
	0	0			K工事~設備工	·	過去の建築士	試験問題な	が解ける						
	0	0		槓舅	算に関する知識を	解ける。 									
テキスト・教材 参考図書	F	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科IV施工													
	回数														
	1	第1章	工事契	2約											
	2	第2章	工事監	理・施	工業務			復習問題で復習 解説と一緒にファ		7回まで提出					
	3	第3章	地盤調	直・測		 と工事		復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング							
					地業工事	-		復習問題で復習	プリントjは次	マ回まで提出					
					ートエ事			解説と一緒にファ 復習問題で復習	プリント」は次	マロまで提出					
		第7章						解説と一緒にファ 復習問題で復習		マロまで提出					
								解説と一緒にファ 復習問題で復習		7回まで提出					
授業計画	7		-	-	ブロックエ事			解説と一緒にファ	イリング						
	8	第9章	木工事					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出解説と一緒にファイリング							
	9	第10章	防水	屋根	工事			復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング							
	10	第11章	左官.	工事				復習問題で復習 解説と一緒にファ	イリング						
	11	第12章	タイル	・張石	工事			復習問題で復習 解説と一緒にファ		7回まで提出					
	12	第13章	塗装.	工事				復習問題で復習 解説と一緒にファ	プリントjは次	7回まで提出					
	13	第14章	建具	・ガラス	 スエ事 第15章	内装•断熱:	 工事	復習問題で復習 解説と一緒にファ	プリントjは次	マ回まで提出					
	14	第16章	ユニッ	ルエ事	 事 第17章 設(復習問題で復習	プリントjは次	マ回まで提出					
					第19章積算			解説と一緒にファ 今までの内容を復							
	(1)5 (2)2	上期試験 定期試験 2級建築	(筆記 士 学)を実力 科本討	施する。※60%以 就験で合格を目指 点以上)・A(80点	すこと		 60点以上)·D(59点以下)	とする。					
					言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
		定	期試験	Š	0				80%						
評価方法		復	習問題	[0				20%						
						-									
履修上の注意	Ŀ	出席60°	%以上:	が単位	₫付与の条件・										

科目名	建築士対策	Ⅱ (
科目名(英)	ARCHITECTURAL D			Im viv de	a marine e									
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今泉清太									
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目										
象学科・学年	建築工学科 3年													
授業概要	2級建築士2次対策L	ノベルに関する 各種	建築構造の基礎知識	戦から応用を身に着け	ర ం									
授業形式	講義: △ 演習:	〇 実習:	実技:		法:○ その他:△									
	書語 知的 情報 技能 技能 意敬 その他 〇 〇 RC	建築構造の課題の物		目標 ら明できる										
学習目標		を きの課題の特徴、出												
(到達目標)	O O 各	構造の矩計図、断面	図の理解し、各部の	の名称が答えられる。										
	0 建	築士2次試験問題を	限られた時間で描げ	ける										
・ キスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築	士 設計製図 テキス	<u></u>											
	^{回数} 授業項目·内容			授業祭	外学修指示									
	1 近年の試験対策に	ついて 全体概要	説明	事前にテキスト確認す	·\$									
	2 設計製図試験の概	要 学習のポイント		前回学習したことを復										
	3 本試験出題のイメー	-ジ		エキスと巻末の表現神										
	4 計画の要点の概要			前回学習したことを復										
	5 鉄筋コンクリート造			前回学習したことを復										
	6 ラーメン構造 構造													
	7 ラーメン構造 配置計画と外部動線 前回学習したことを復習する													
	9 鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、 前回学習したことを復習する 10 鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方 テキスト巻末にある答案例確認しま													
		案例確認し表現補法確認												
	11 鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)													
	12 鉄筋コンクリート造 立面図 テキスト巻末にある答案例確認し表現付 13 鉄筋コンクリート造 断面図 テキスト巻末にある答案例確認し表現付													
	14 鉄筋コンクリート造	案例確認し表現補法確認												
授業計画	15 鉄骨造(S造)													
	16 鉄骨造(S造)(RC造	i)概要		る。	特徴等事前調査を指示す									
	17 純ラーメン構造 構	造 計画		法令集持参、関連法規に注意させる 建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合										
	18 純ラーメン構造 配			わせる。	参させ、プリントと照らし合									
	19 純ラーメン構造 平			わせる。	リントうはファイリングの支									
	20 鉄骨造(S造) 課題		л ж ь+	をする。	: 特徴等事前調査を指示									
	21 鉄骨造(S造) ケー 22 鉄骨造(S造) 要求			る。	特徴等事前調査を指示									
	23 鉄骨造(S造) 立面		アン博坦/	る。 図面のチェックと修正										
	24 鉄骨造(S造) 断面			図面のチェックと修正										
	25 鉄骨造(S造) 部分	· 		図面のチェックと修正										
	26 チャレンジ課題②		イントライン引き	図面のチェックと修正										
	27 チャレンジ課題②	作図演習		図面のチェックと修正										
	28 チャレンジ課題②	作図演習		図面のチェックと修正										
	29 チャレンジ課題②	作図演習		図面のチェックと修正										
	30 まとめ 整理			演習問題れんけいする	5 .									
	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
	マラ 田子 ロマ 本外		口的技能 運動技	能態度・意欲 その	の他 評価割合									
評価方法	練習課題 ○ ◎ 30% チャレンジ課題② ○ ◎ 70%													
AT DELVJ ACK	アヤレング鉄度② 0 ◎ 70%													

科目名	専攻も	žミ(住:	宅)Ⅱ(必	修選択)								
科目名(英)												
単位数	6単位		時間數		時間	担当者	今泉清太					
実施年度	2020年		実施時期	i	麦期	実務家教員 担当科目						
才象学科·学 年	建築工学	科 3年										
授業概要	前期の授組み立て	業を」踏え、 、プレゼンラ	各年代の代表 ーションできる	ものな建築物 の力を更に重	の分析・考察を 点的に知識を消	通して、自分なりの 深め、よりリヤルな ፤)住宅設計プロセス? 形にする。					
授業形式	講義: △	演習:	〇 実習:	実		※ 主たる方法	去:○ その他:△					
	言語 知的 運動 慈禧 情報 技能 技能 意故		の細本を示に	明显 上 90	目標点の解決がで	± Z						
学習目標	0				流れまで一通り							
(到達目標)	0				を分析し、応用		7					
	0	140	『の総決昇とし	(仕七建業)	受託のプレゼン	テーションを完成さ	でる。					
キスト・教材 参考図書	オリジナル	レプリント										
7-7-2-8	回数		授業項目·P	内容		授業外	卜学修指示					
	1 オリエ	ンテーショ	ン「プランニン・	グを考える」								
	2 前期の	の作品の振	り返りをし 問	題点を突き詰	ida							
			り返りをし 問	題点を突き詰	iø	-						
		ブデスカッ	イスカッション									
		果題の作り										
		f·再評価										
			次課題の説明	<u> </u>		1						
	H		「デザインの基		.合う。	1						
			ィスカッション			-						
	\vdash	果題1につし	へご説明									
	13 再分析	f·再評価										
	14 再分析	f·再評価、	次課題の説明	l								
	課題2	前期に変え	て有名建築1(戸建て住宅)(二学び、考える	-						
	15 2010	年代の日	本の代表的な化	主宅に関する	分析と考察							
	16 発表	と講評、デ	ィスカッション	「建築の評価	iJ							
	17-18 課題3	の作り直し										
	19 再分析	f·再評価				1						
	20 再分析	f·再評価、	次課題の説明	l								
		有名建築	2(戸建て住宅	E)に学び、考	える							
	20194	∓代の日本	の代表的な住	宅に関するタ	分析と考察							
授業計画		:講評、ディ D進め方)]	スカッション「3	建築デザイン	を学ぶ(建築		復習と、未完の作業					
		の作り直し				くこと	までに作業を終えて:					
	25 再分析	f·再評価										
	26 再分析	f·再評価、	次課題の説明	l								
	課題5	有名建築	(戸建て住宅)	に学び、考え	.a							
	19		界の代表的な									
		:講評、ディ D進め方) I	スカッション「} 「」	建築デザイン	を学ぶ(建築							
	30-31 課題6	の作り直し										
	32 再分析	f·再評価]						
	33 再分析	f・再評価、	次課題の説明	l]						
	課題7	有名建築	(戸建て住宅)	に学び、考え	દેઢ							
	世界の		住宅に関する		7. + M 50 /9±]						
		表と講評、 †の進め方	ディスカッション) Ⅲ 」	∕! 建架デザ	1 ノを字ぶ (建	1						
		の作り直し				1						
	\vdash		次課題の説明			1						
	39		(戸建て住宅)									
	登惠人		と界の代表的な スカッション 「3			1						
	20 設計の	0進め方)Ⅳ	7」	ニ末 ハソイン	こテめ∖建業	-						
	Н.	0の作り直し				-						
			次課題の説明	I		-						
	H .		計の進め方									
	45 発表と	講評										
	出席率及び提 により評価する		限、完成度)に	加え、ディス	カッション時の和	責極性(発言回数、	意見内容の整合性					
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲 その	の他 評価割合					
	提出化	作品	中面用報	口 〇	AE 表/JX FE	心水心以 て	701世 評価制合					
評価方法	発表・ディス	カッション	+	0			20%					

科目名	専	·攻t	ヹ ミ(都市)	Ⅱ(必	修選	選択)													
科目名(英)	_																			
単位数		6 ≜	単位		時間	数	90	時間	担当者		今泉 清太									
実施年度		202	0年度		実施時	朔	育	 前期	実務家教員 担当科目	ı										
対象学科・学年	建	築工学	科 3年	F.					E 3 14 C											
授業概要	する	とともに	多角的	りに物事	を判断、検	討が彳	うえる力を養う	0	法の工夫など、 きる思考力や		スの習得を目指									
授業形式	講義	:		演習:	0 }	実習:	実	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△									
	言語 情報	知的 選技能 技	動 態度	その他				目標												
		0					を喚起し、基礎 『を見つけ出す		に調査・分析	できる										
学習目標 (到達目標)		0							支映した設計を	完成させる	ことができる									
		0		問是	夏点、解决	案をブ	゚レゼンテーショ	ョンにより発信	言することができる											
rキスト・教材 参考図書	プレ	ノ・デザ	インの	手法、近	代建築卒	業設計	+													
	回数				授業項	目・内	容			授業外学修	指示									
	1	(i	2計課題	題1 7号食	削ノベーシ:	ョン】	問題点のブレー	-ンストーミング												
	2	問	題点名	ー 事にグル-	ー ープ分け、 ^へ	ブルー	-プ毎にコンセ	ー プトを纏める												
	3	101				,,,,,,,,	1													
	4	テ	ーマに	沿って、	個人でリノ・	する														
	5		7 5	٠- دط.			1													
	6,7 8			セッションセッション			1													
	9	<u> </u>		セッション こよる発表			1													
	10				•	· · · · · · · · · · · · · ·														
	11				え、課題など															
	12,13					門学	校群に求められ	hるもの』※												
	14	-	出され		と踏まえて															
	15				について針	*表			1											
	16	-		' ' '	10 30 . 03	L 2X														
	17		体的調の配置		ハて討論・強	建物の)機能・構造・化	Ł様∙規模∙建												
授業計画	18	1 193		<u>=</u>)作業がある場合は									
	19	概	要の記	Eとめ					- 凹ま	でに作業を終え	رهرد									
	20	発	表																	
	21,22	具	体的に	平面計画、	スケッチ、ダ・	イヤグ	ラム、ボリューム	模型で学習する												
	23,24	図	面作用	ţ																
	25,26	模	型作品	ţ					1											
	27,28	C	G作成																	
	29,30	発	表																	
	31				+施設の設	計】	卒業制作ガイ	ダンス	_											
	32~34		面作用						4											
	35~37		型作品						1											
	38,39 40,41	· ·	間報台						1											
	42, 43	-	表	~					-											
	44			テーショ	ン最終チェ	ック			1											
	45	プロ	ノゼンテ	ーション(具	体的な内容、	テーマ	について)休暇中	作業のガイダンス	1											
	各課題				期限内に提 て評価する		きているか、プ	レゼンテーショ	 ンの内容(テ-	ーマと完成品	との整合性、表									
	-373		-3/1	, 5, 5			知的技能	(国本社が	상 <i>라</i> 초쓰	7.0.11	Ex Inchel A									
	課題作	品(レ	ポート	·図面·模	言語	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合 50%											
							50%													
評価方法	ブレゼンテーション O																			
評価方法																				
評価方法																				
評価方法																				
評価方法																				

Annal Property Control of the Contro	科目名(英)				·				_			_				
(基本学・学生 2000年)	単位数		6.	単位		時	間數	90	時間			今泉清太				
作成した配色を削い、実際に近い運転工事を体験し、教育が実際に工事を行った検験や資料を利用し、規模を担当では、関連を担当を対しては、健康を工事を経験しませます。						実施	医時期	í								
課業・ 演書・ 演書・	対象学科・学年		建築工	学科	3年											
# 1	授業概要															
中国日本	授業形式			_	演習:	0	実習:	美	?技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法:O	その他:△				
1		\vdash		想度	その他	2級施	T 管理+	·国家試験			る					
### 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学習目標 (到達目標)		0			各工事	の検討	すべき事項	に留意し、施	工作業に取	り組むことだ					
日本 投棄項目・内容 授業の事務指示 1 自己紹介とクレーシュン 自己及び友人の紹介を行う 2 建築施工、実務金級の語(集界のしくみ)、質疑の落 3 CAD設計(木造監計図)※CADの20かさらい	キスト・教材 参考図書		施工図	入門	書籍もし	くは講師	「にて準備	İ								
2 建築施工、実務金穀の話(業界のしくみ)、質疑応答 3 CAD設計(未直設計図) ※CADのおさらい 回漢業下に発えれなかった作業は 回漢業までに終えておくこと (共産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、養育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経間点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経間点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経商点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経間点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) 経間点、失效箇所の見直し (大産、食育産、コクリート造) (大産、食育産、コクリート造) (大産、食育産、コクリート造) (大産、食育産、コクリート造) (大産、食育産、コクリート産) (大産、食食産・大砂(大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大産・大		回数				授業	項目・内	容			授業外学修	指示				
3 CAD設計(未進設計図) ※CADのおさらい	•	1	自	己紹:	介レクレー	ーション	自己及び	が友人の紹 か	トを行う							
4 過去問題 設開祭を解説、質疑応答 5 総尺模型にて業務に近い経験をきせる (大道、銀骨造、ユンツリート油) 7 過去問題 設開祭を解説、質疑応答 8 総尺模型にて実務に近い経験をきせる (大道、銀骨造、ユンツリート油) 10 過去問題 設開祭を解説、買疑応答 11 総尺模型にて実務に近い経験をきせる 12 結果機関・工業務に近い経験をきせる (大道、銀骨造、コンツリート油) 13 過去問題 設開祭を 一般に、買疑応答 14 総尺模型にて実際に近い経験をきせる 15 総用模型にて実際に近い経験をきせる 15 ・		2	建	築施:	工、実務:	全般の言	舌(業界の	しくみ)、質	疑応答							
		3	CA	D設i	計(木造語	设計図)	%CAD0	のおさらい								
(本連、鉄青連、コンツ)ート連) (本連、大阪箇所の見面し (本連、鉄青連、コンツ)ート連) (本連、大阪箇所の見面し (本連、大阪 一、大阪 一、大阪 一 一) (本連、大阪 一、大阪 一、大阪 一 一) (本連、大阪 一、大阪 一 一) (本連、大阪 一、大阪 一 一) (本連、大阪 一、大阪 一 一) (本)大阪 一 一 一) (本)大阪 一 一 一) (本)大阪 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		4	過	去問題	題 設問角	解答·解	説、質疑	応答								
7 過去問題 設問解答・解説、質疑の答 8 輸尺模型にて実務に近い経験をさせる (水造、鉄育造、コンクリート造) 10 過去問題 設問解答・解説、質疑の答 11 総尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄育造、コンクリート造) 12 (木造、鉄育造、コンクリート造) 13 過去問題 設問解答・解説、質疑の答 14 総尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄育造、コンクリート造) 15 耐工事検討のポイント説明 16 枯工事検討のポイント説明 17		H	縮							疑問点、	失敗箇所の)見直し				
8		\vdash	:温.													
10		\vdash														
11		Н	44B	, 、(大)						疑問点、	失敗箇所の	見直し				
12		\vdash	過	去問題	題 設問角	解答•解	説、質疑	応答								
13 過去問題 設開解答・解除、質疑応答		\vdash	縮	尺模						疑問点、	失敗箇所の	見直し				
15		\vdash	過:	去問題												
15		14	縮	尺模						2000年	# 贴签证4	しまり				
17		\vdash						クリート造)		短问点、	大双回別 0.	兄直し				
#		\vdash	杭	工事	検討のポ	イント説	明									
19		Н	杭	計画	図(立面)	を基に	実際に施.	エしてみる		疑問点、	失敗箇所 <i>0</i>	見直し				
21		19	CA	D杭i	計画図(式	で面) の	作成									
23		21	CA	D設i	計(木造小	\屋付图	₫2F)									
25		23	仮	設足均	場検討の	ポイント	説明 1									
27		\vdash	仮	設足均	場図(平面	面)を基1	に実際に	施工してみる	•	疑問点、	失敗箇所 <i>0</i>)見直し				
29		Н	CA	D仮i	設足場図	(平面)	の設計									
31		H	CA	D設i	計(木造小	∖屋付図	₫1F)									
仮設足場図(立面)を基に実際に施工してみる 疑問点、失敗箇所の見直し 33		30	仮	設足均	場検討の	ポイント	説明 2									
GAD仮設足場図(立面)の作成 回授業までに終えておくこと 日接業までに終えておくこと 日接業までは、またまでは、日本を記述するとは、日本を記述するようには、日本を記述するまでは、日本を記述するまでは、日本を記述するようには、日本を記述するまでは、日本を記述するまでは、日本を記述するまでは、日本を記述するようには、日本を記述するまでは、日本を		Н	仮	設足均	場図(立面	面)を基1	に実際に	施工してみる	.	疑問点、	失敗箇所の)見直し				
GAD設計(木造輪組図、北面) 回授業までに移えておくこと 回授業までに移えておくこと 回授業までに終えておくこと 日本		\vdash	CA	D仮i	設足場図	(立面)	の作成									
37 38 39 40 縮尺模型にて実務に近い経験をさせる (木造、鉄骨造、コンクリート造) 疑問点、失敗箇所の見直し 41 42 43 44 45 今期授業のまとめ、復習 過去問題対策テストの点数、実務対応レベルの模型完成度、施工取り組み姿勢(安全管理)、実務レベルと較した技術習熟度により評価する。		-	CA	D設i	計(木造車	曲組図、	北面)									
10 10 10 10 10 10 10 10		\vdash														
### 40		Н														
11		H														
42 43 44 45 今期授業のまとめ、復習 過去問題対策テストの点数、実務対応レベルの模型完成度、施工取り組み姿勢(安全管理)、実務レベルと較した技術習熟度により評価する。 言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合 小テスト ○		H	縮	尺模						疑問点、	失敗箇所の	見直し				
43		Н														
45		\vdash														
過去問題対策テストの点数、実務対応レベルの模型完成度、施工取り組み姿勢(安全管理)、実務レベルと 較した技術習熟度により評価する。		\vdash														
評価方法		45	今	期授:	業のまと	め、復習	i									
評価方法 富語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合 小テスト ○ 10% 模型完成度 ○ 30% 施工取組姿勢・技術習熟度 ○ 60%								ドルの模型気	民成度、施工耳	双り組み姿勢(安全管理)、	実務レベルと				
評価方法 小テスト ○ 10% 模型完成度 ○ 30% 施工取組姿勢・技術習熟度 ○ 60%			-1~11	- ~				4n 44+4+	温料什些	能由.充學	エハル	電体型へ				
評値万法 模型完成度 ○ 30%		-	,	小テス	۲١-	1	計情報		埋勁技能	悲度•意欲	その他					
	評価方法		模	型完	戓度			0				30%				
		施工	.取組多	※勢・	技術習	热度		0				60%				

科目名	2	本業	制1	⊨ ∐							
科目名(英)											
単位数		4単	位		時間數	60	時間	担当者		板野純	
実施年度		2020	年度		実施時期	往	党期	実務家教/ 担当科目			
対象学科・学年	建	築工等	学科34	¥							
授業概要	ン 形	の知識	tt、技行 分野(術、センス の中で研究	を活かして、 名の意義を熟	その集大成る	を研究をと 一マを選	D知識等から、(おして卒業設計 定し、担当教員 F究論文としてま	・論文にま の助言・指	とめる。建築・i 導のもと調査・	
授業形式	講義			<u> </u>	△ 実習:	実	技: 		:る方法:〇	その他:△	
	宮語 知 技		態度 まる	本学に	おけるこれま	での学習の		標 			
								t画、制作、検証	Eといったー	・連の活動に主	
# 3 300#	0			的に取	り組組むこと	ができる					
学習目標(到達目標)	0							目手に伝えられ 音察力を確立で		る。また、そのこ	
										土ナ 自にのは7:	
	0			学業制 ができる		(計者、技術者	、研究者と	して必要となる洞	祭刀や表現	刀を身につける	
テキスト・教材 参考図書											
7.722	回数			:	授業項目·内	容			授業外学修	·····································	
									22,447. 2.12		
	1	全体お	よび2	卒業研究	グループ(ゼミ	ンテーショ	ン				
								授業開始前	までに 指:	示された内容を	
	3 4	題設定	Ê	(全教員	情報共有。						
								ス <i>ケ</i> ッチブック?	を党備! 毎日	検討を進めること	
		業研究		第二ザノ	·.###			支資料はスケッ	ッチブックに貼り付		
	6 熟	(地次)	正 建	築デザイ:	ノ舑我						
		業研究					スケッチブックで 調査資料、作品 まとめていくこと	支資料はスケッ	検討を進めること ッチブックに貼り付		
	8 1	スキー	-ス講	義 プラン	′作成			3200 (11/20			
	9 卒	業研3	究中間	発表			講評における記 し、作品のブラ		を客観的に見つる つなげること。		
		品発									
	11 ,,									検討を進めること ・チブックに貼り付	
	12	品作用	戉					まとめていくこと	Ł.		
	+	- Alle TT -		1 200 +				スケッチブックで	を常備し、毎日	検討を進めること チブックに貼り付	
		¥研3 品発						まとめていくこと		プテンツグに関すり	
₩ ₩ 4 Lm										検討を進めること	
授業訂劃		*業研? 1レイア						調査資料、作用まとめていくこと		ッチフックに貼り付	
								業開始前ま	でに指示	された内容を情	
	17 18 作	品作用	戓					報共有。授			
	10							类目协治士	でに 指字:	された内容を愉	
		業研3						乗開炉削よ 報共有。授		された内谷を11	
	20 11	品発表	支講 部	/会							
	21	品作用	.t					業開始前ま 報共有。授		された内容を愉	
	22	- pp 1 F <i>I</i> -	火								
	23 卒	*業研3	究最終	発表				業開始前ま 報共有。授		された内容を愉	
		品発									
	25							業開始前ま 報共有。授		された内容を愉	
	25 26	間発表	表 ポ	スターセッ	ション(全教)	員)		秋六円。1久	未议设日		
								講評における記し、作品のブラ		を客観的に見つ	
	²⁷ フ	レゼン	テー	ション1 (:	全教員)			C. TFRROD 7 7	771777C	. عهدا هدد.	
										を客観的に見つ	
	29 30	長終発	表、諱	評、審査	(全教員)		し、作品のブラ	ッシュアップに	つなげること。		
	ー 中間時のエスキスチェックの内容評価・出課題作品の完成度とプレゼンテーションの出来栄えに。 する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下										
	۰,۰۵۰	/如中央市	,此至	-io. 0(1			
		#B 6	雪 <i>小</i> 一口	1	言語情報	知的技能	運動技能	能態度・意欲	その他	評価割合	
評価方法		ボニエスキ	題作品 ・スチェ		0	0				80% 10%	
	発表										
					1						
					1						

科目名	数学ゼミⅢB(選択)														
科目名(英)		1単位 時間数 15時間 担当者 吉田 麻美 2020年度 実施時期 後期 担当者実務経験													
単位数	1	単位		時	間数	158	寺間	担当者	Ē	5田 麻美					
実施年度	202	20年度	Ę	実施	時期	後	期	担当者実務経	験						
対象学科·学年	建築工	学科 (3年						•						
授業概要	建築の名	各学科	におい	て必要とさ	れる、基	礎的な数学ス	キルの復習	と習熟を目指す	f						
授業形式	講義:	Δ	演習	: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法∶○	その他:△					
	言語 知的 運動情報 技能 技能		その他		U.	,	目標	Ę							
	0 0		文	字式・連立	Z方程式(の応用問題が	解ける								
学習目標	0 0		連	立方程式	を用いて	応用関係式が	「解ける								
(到達目標)	0 0														
	0 0														
		○ 図形の性質と余件を用いて応用問題が解ける													
テキスト・教材 参考図書	オリジナ														
	回数														
	1 【応用	授業項目・内容 授業外学修指示 【応用問題演習】 式の計算 文字式の利用、等式の変化 解答出来なかった問題は必ず復習・解答 の上再提出すること。また、理解できな													
	2【応用問	問題演 [®]	習】連:	立方程式 :	文章問題((代金、速さ、害]合、自然数)			に理解できな 記入して担当教					
	3 【応用	問題演	演習】 1	次関数 ク	ブラフと図	形		員に提出する	こと。						
授業計画	4 【応用	問題演	賀】 1	次関数 1	 次関数の)利用		_							
	5 【応用					三角形の合同	条件と証明	_							
	6 【応用				-	角の二等分紀		_							
				三角形と四			水り、フィの円								
	8 【応用	问起》	(百)	三角形と四	用形 凶	形の面積									
	(1)受講態	痩∙意	颔(2)課題の提	出 以上	の内容を総合	合的に判断し	R評価(可、7	下可)で判断・	する。					
				言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
			•意欲		0	0				30%					
評価方法	課	題の	提出		0	0				70%					
履修上の注意	60%出界	まを単	位付与	条件とする	5										

科目名	E	BIM 専攻ⅢB(選択)											
科目名(英)	Е	Buildi	ing	Infor	natio	n Mod	n ModelingⅢB						
単位数	1単位					時間数			诗 間	担当者		道脇力	
実施年度		2020年度					実施時期 後期			担当者実務経	験		
対象学科・学年	至	建築エ	学科	斗 3年							"		
授業概要		・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。											
授業形式	講	講義: 演習:				〇 実習: 実技:			※ 主たる方法:○ その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語 情報		運動 技能	態度 意欲 その	他	目標							
			0		_	ゾーンツールを使ってボリュームスタディができる。							
		O BIMワークフローにより効率よく設計ができ),			
		O BIMを活用したプレゼンテーションができる。											
 テキスト・教材													
参考図書	7	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)											
授業計画	回数					授業項目·内容				授業外学修指示			
	1	課題:複合ビル「制作②」								情報、資料収集を行うこと			
	2	課題:複合ビル「制作③」								情報、資料収集を行うこと			
	3	課題	中間	報告	発表)		発表資料の確認を行うこと					
	4	課題	:複1	 合ビル	「制作	4		タイムスケジュールの確認を行うこと					
	5	課題	i:複1	合ビル	「制作	· 5 J		タイムスケジュールの確認を行うこと					
	6	課題:複合ビル「制作⑥」								タイムスケジュールの確認を行うこと			
	7	課題	i:複1	 合ビル	「制作	·⑦1		必要提出資料の確認を行うこと					
	8						 長)「プレゼ	必要提出資料の確認を行うこと					
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												
	13												
評価方法						1	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
	発表・作品							0				50%	
			課題	題提出				0				50%	
履修上の注意	占	出席が	ें60%	6に満	たない	場合は	、単位を記	認めない。		<u></u>			